

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	てらびあほけっと堺教室	公表日	令和7年10月31日				回収数	24名
	利用児童数	33名				回収数	24名	
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	3		1	・もう少し広いとありがたい。 ・少人数なのが良い。	部屋での運動や個別支援を行う個室両方とも、安全面には配慮し、お子様の活動内容に合わせたスペースが確保できるようにしていきます。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20		2	2	・先生が少なく負担が大きそう。 ・1対1なのでありがたい。	個別支援でできたことをお友だちと一緒にできるようになるために、職員1名で複数のお子さまを担当するケースがございます。お迎え時に保護者様をお待たせしないようにしていきます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22			2			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23			1	・いつ行ってもきれいだと感じる。	ありがとうございます。今後も環境面や衛生面に気を付けてお子さまの支援を行っていきます。	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	24				・毎回振り返りを行い評価し、今のレベルに合わせて考えてくれている。 ・気になることは専門的に教えてくれる。	いつもお話の時間を作っていただき、ありがとうございます。今後もお困り事等何かございましたらいつでも遠慮なくお知らせください。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23			1	・合っていると思う。	今後も、保護者様とお話させていただいた内容と、お子様のご様子を支援内容に反映していきます。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23		1		・変化する困りごとをその都度相談できる。 ・急に質問されても困りごとをすぐ思いつかない。	急に質問してしまい困惑せてしまい申し訳ありません。お困り事含めて、何かございましたらいつでもお話させていただきますので、お話できるタイミングでお知らせください。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22			2			
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23			1	・してくれていると思う。	ありがとうございます。保護者様の願いと、お子様の今の状況を合わせながら支援内容を考えておりますが、ご不明点やご要望等ございましたら、いつでもスタッフまでお知らせください。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23			1			
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	3	10		地域の園と交流する機会がなかなか作ることができておりませんが、教室新聞を配布して、教室の様子を知っていただいているあります。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24				・たくさん丁寧に説明してくれる。	ありがとうございます。今後も分かりやすい説明を心がけていきます。	
保護者への説明等	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21			3		テーマに沿った動画視聴のご案内をさせていただいております。いつでも視聴可能ですので、スタッフまでお知らせください。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解がでていると思いますか。	24				・その日の様子を細かく教えてくれる。	お迎え時のお話は支援内容がメインになってしまいがちですが、ぜひご家庭や園での様子などもお話を伺いしていきたいです。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1		3	・困ったことがないか聞いてくれるので助かる。	面談時は教室以外の場所でのお子さまのご様子をお話することができます。とてもありがたいです。お一人お一人とお話する時間を丁寧に作っていくことを心がけます。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23			1	・トラブルや悩み等をいつも聞いてもらえる。 ・いつも親身になってくれる。	全てのご利用者様にそう思っていただけるように、保護者様とお話する時間をこれからも大切にしていきます。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16		3	5		兄弟向けのイベントは実施できおりませんが、保護者様とのお話の中でご兄弟のお話をさせていただくことがあります。何かお役に立てることがございましたらお話させていただきたいです。	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19			5	・小さな相談も親身になって教えてくれる。	保護者様との面談では、気になることや支援のご希望などお話させていただいております。今後はお一人ずつともう少し時間をかけたり、頻度を増やしていきます。	
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23			1	・細かく伝えてくれる。	ありがとうございます。もう少し写真や動画等でお子さま一人一人の支援での様子を見ていただけるようにしていきます。	
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22			2			

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19			5		訓練は実施しておりますが、実施したご報告を新聞などで細かくご報告してお知らせしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			14		避難訓練は5月と11月に実施しております。実施した様子などのご報告が足りなかったと思いますので、SNSや教室新聞等でお知らせします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21			3		事故の予防として、お預かりの2時間の間にお子様の側を話せるときは、他のスタッフと交代して見守るようにしております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20			4		事故が起きないのが一番ですので、起こりにくい環境づくり、スタッフ間の声かけを意識して行っております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24				<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら学べている。 ・先生や場所が好きで楽しみにしている。 ・できた積み重ねを大切にしてくれ、子供も安心している。 	お子様の頑張りや成長は私たちの励みになります。これからも成功体験を積み重ねていきながら、自信を持って自分らしく生活できるようサポートしていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22			2	<ul style="list-style-type: none"> ・早く行きたいという。 ・先生や友達に会いたいという。 ・明日行く？と聞かれる。 	お友だちと会うのを楽しみにしているお子さまがとても多いので、私たちスタッフにとっても嬉しいです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23			1	<ul style="list-style-type: none"> ・成長したのでとても満足している。 ・少し会話ができるようになって嬉しい。 ・情報共有してもらい、すぐセラピーに反映してもらっている。 	保護者様に成長した、と感じていただけるのは一番の励みです。通ってくださるお子様1人1人が、楽しいと思しながら頑張れる支援を続けていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		てらひあほけっと堺教室				公表日	令和7年10月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5				
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		スタッフが急に休みになった際も、安全に支援を行えるように職員の配置を考えて実行している。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		なるべく支援に集中しやすいように、装飾などは控えたり、整頓された環境づくりを心がけています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		おもちゃや教材の消毒、部屋の消毒や清掃はこまめに行うようにしています。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			頂いたご意見を職員間で共有し、改善点を意識して運営していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		月に1度職員内で会議を行い、教室運営等について話す時間を作っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	第3者による外部の評価を得ていないが、地域の保育園、幼稚園等に支援の見学をして頂いています。	外部評価をして頂くようにしていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		必要な研修を実施するようにしています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		保護者様の願いをお聞きしながら、お子様の現状に合った支援の目標を立てることを心がけています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			スタッフ間で話し合う時間の確保が少ないので、記録や終礼等を活用して、今後もさらに共通認識が持っているようにしていきます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		支援に入る前に、個々のお子さまの個別支援計画書を読み込んで支援を行なうようにしています。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		それぞれの支援目標を立てて支援を行っています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	まずは一人担当を決めて、必ず複数で話し合って立案するようにしています。	話し合う時間がまだ少ないように思われるの	で、空き時間などを活用して話す時間を確保していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		お子様の成長や発達段階に応じて、プログラムを進めるようにしています。		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別支援と集団活動の支援の計画書を両方作成しております。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5				

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		終礼時に行うようにしております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		お子様個々のファイルを作成して記録しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		お子様の成長や今必要な支援を保護者様とお話ししながら計画書の見直しを行っております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児発管または支援員で参画しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			マンツーマンの個別支援から、年長さんは就学に向けて、徐々に小集団メインの支援に移行するようしております。今後も、より小学校の授業に近い形の支援を行うことで、就学準備をすすめられるよう支援しています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2		保護者様のご希望に合わせて情報共有をさせて頂くことが多いので、今後は必要な情報を共有できるようにしていきます。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5	一緒に活動する機会はありませんでしたが、教室新聞をお配りして、支援の様子をみていただいております。	交流する機会を考え、つくっていきます。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		お迎え時にお話する際に、頑張って取り組んでいる点や今後も支援を続けていく課題等をお話させていただいております。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		動画視聴等のご案内をさせて頂くなどの家族支援をさせて頂いております。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		ご契約時にご説明するようにしております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		どのような支援ができれば、生活がより過ごしやすくなるかを基本に保護者様と一緒に支援を考えています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		ご相談があった時はその場でお話させていただくことが多いです。一緒に対応方法等を考えるよう努めております。	もう少し話しやすい雰囲気が作れるように、話してくださるのを待つだけでなく、教室からも伺うようにしていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5			春と冬に2回、保護者会を実施しておりますが、兄弟同士で交流する機会は作っていないため、今後はその方法を考えます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			いつでもお話させていただく体制をつくっていきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者にに対して発信しているか。	5		教室新聞を発行したり、インスタ等で教室の様子を発信しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		気を付けております。	

	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		玄関先でお話することが多いですが、内容に合わせて、相談室等の個室で対応させていただいております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			地域住民の方を招待するような機会は作れていなかったので、今後はその方法を考えます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			定期的に避難訓練は行っていますが、保護者様に詳しくご報告できていなかったので、今後はしていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		ご契約時にお聞き取りさせていただき、個々に対応手順を作成しております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		入り口の玄関では、「どちらさまですか？」と声をかけて、保護者様に返答していただいてからドアをあける等、ご協力をお願いしております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			詳しくご説明する機会がなかったと思いますので、ご家族様にお伝えする機会をつくります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		終礼時に今日のヒヤリハットを共有し、今後に向けた対策を話しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		職員間で虐待防止の研修を行っております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			保護者様とお話しした上で、必要なお子さまがいる場合は記載するようにしていきます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	てらびあほけっと堺教室			
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日 ~ 令和7年10月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数)	24名
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日 ~ 令和7年10月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・送迎をしていただくことで、毎利用時に保護者様の願いや思いを丁寧にお聞きし、それを支援に反映している。	・保護者様のお困りごと等がないかをお伺いすること	FBの時間やモニタリング面談だけではなく、もう少し短い期間でご利用者様と面談をこまめに行うようする。
2	・個別で個々に合わせた支援を行っている。個々に合った方法を考え実践している事。	・お困りごとについて一緒に対応方法を考えていること	直接お話しにくい保護者様のために、アンケート等で記載できるような取り組み。
3	・個別でできたことを集団でもできるようになることを目指している。	個別支援はベースだが、所属する集団に向けて、お子様の発達に合わせてペアや小集団での支援も行っている。	どのお子様も、徐々に個別支援からお友だちと一緒に支援を増やしていることでお友だちとの関わりが増えているので継続していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎のある教室は保護者様の負担が減るが、送迎の負担がある中毎回送り迎えをしてくださっていること。	・悪天候などで自転車での送り迎え。	今年度は近隣のタイムズ駐車券の配布を始めた。少しでも送り迎え時の負担が大きくならないようにしていきたい。
2	お子様をお預かりしている教室なので直接支援の様子を見る機会が少ないこと。	支援の様子がわかるように伝える手段や方法。	動画でお子さまの支援の様子を見ていただきたり、ノートで支援の様子がわかるように記録してお伝えすることを継続していくこと。また、支援を見学していただくこと。
3			